

# 貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

天王寺S C開発株式会社

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>流動資産</b>	<b>1,115,110</b>	<b>流動負債</b>	<b>5,034,963</b>
現金及び預金	167,600	短期借入金	497,448
営業未収金	835,817	1年以内返済予定長期借入金	610,000
前払費用	5,634	1年以内返済予定預り保証金	119,877
繰延税金資産	96,742	未 払 金	1,048,517
その他流動資産	9,316	未 払 費 用	26,238
		未 払 消 費 税 等	34,137
<b>固定資産</b>	<b>21,921,739</b>	未 払 法 人 税 等	141,363
有形固定資産	21,243,683	営業預り金	2,229,413
建物及び設備	20,504,077	預り金	35,790
構築物	25,502	賞与引当金	55,511
機械装置	44,975	ボイント引当金	226,840
器具備品	501,148	その他流動負債	9,823
土地	25,290	<b>固定負債</b>	<b>7,337,838</b>
建設仮勘定	142,689	長期借入金	300,000
無形固定資産	95,644	預り保証金	264,031
電話加入権	2,921	預り敷金	6,565,534
ソフトウェア	92,723	退職給付引当金	157,070
投資その他の資産	582,411	その他固定負債	51,201
投資有価証券	5,450	<b>負債計</b>	<b>12,372,801</b>
長期前払費用	317,651	(純資産の部)	
長期未収金	17,221	<b>株主資本</b>	<b>10,664,048</b>
繰延税金資産	227,777	資本金	1,800,000
その他投資	18,300	資本剰余金	1,012,367
貸倒引当金	△ 3,989	その他資本剰余金	1,012,367
		利益剰余金	7,851,681
		その他利益剰余金	7,851,681
		繰越利益剰余金	7,851,681
		<b>純資産計</b>	<b>10,664,048</b>
<b>資産合計</b>	<b>23,036,850</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>23,036,850</b>

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

〔平成28年4月1日から  
平成29年3月31日まで〕

天王寺S C開発株式会社

(単位:千円)

科 目	金 額
売 上 高 賃貸事業 売 上 高	8,013,559
売 上 原 価 賃貸事業 売 上 原 価	6,575,916
売 上 総 利 益	1,437,642
販売費及び一般管理費	307,740
営業利益	1,129,901
営業外収益	
受取利息	22
その他の収益	16,979
	17,001
営業外費用	
支払利息	51,134
その他の費用	111
	51,246
経常利益	1,095,656
特別損失	
固定資産除却損	28,188
	28,188
税引前当期純利益	1,067,467
法人税、住民税及び事業税	340,288
法人税等調整額	△ 11,282
当期純利益	329,006
	738,461

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主資本等変動計算書

〔平成28年4月1日から  
平成29年3月31日まで〕

天王寺S C開発株式会社

(単位:千円)

資本金	株主資本				純資産合計		
	資本剰余金		利益剰余金				
	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	繰越利益剰余金合計			
当期首残高	1,800,000	1,012,367	1,012,367	7,113,219	7,113,219	9,925,587	9,925,587
当期変動額							
当期純利益				738,461	738,461	738,461	738,461
当期変動額合計	-	-	-	738,461	738,461	738,461	738,461
当期末残高	1,800,000	1,012,367	1,012,367	7,851,681	7,851,681	10,664,048	10,664,048

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個 別 注 記 表

〔 平成28年4月1日から  
平成29年3月31日まで 〕

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のないもの…… 移動平均法による原価法によっております。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産…… 定額法によっております。

なお、建物については、自主的耐用年数にもとづく定額法によっております。

無形固定資産…… 定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）にもとづく定額法によっております。

#### (3) 引当金の計上基準

貸倒引当金……… 債権の貸倒による損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権について個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金……… 従業員の賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当事業年度に負担すべき金額を計上しております。

ポイント引当金… ミオクラブ会員に付与したポイントの利用に備えるため、当事業年度末において将来使用されると見込まれる額を計上しております。

退職給付引当金… 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

2. 貸借対照表の注記

(1) 資産につき設定している担保権の明細

(単位：千円)

担保に供している資産		担保権によって担保されている債務	
種類	当期末帳簿価額	内 容	当期末残高
建物及び設備	14,804,174	1年以内返済予定長期借入金	610,000
		長期借入金	300,000
計	14,804,174	計	910,000

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 28,486,041千円

(3) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権	6,688千円
短期金銭債務	507,034千円

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高	
営業取引高	1,252,298千円
営業取引以外の取引高	3,815千円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の末日における発行済株式の種類及び株式数	
普通株式	42,000株

5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因是、ポイント引当金、減価償却費等の否認であります。

## 6. 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については、預金や親会社に対する短期的な貸付に限定しております。

一方、資金調達については、営業取引及び設備投資にかかる資金は親会社からの短期の借入により、資金を調達しております。

営業未収金にかかる顧客の信用リスクは、経理規程に沿ってリスク低減を図っております。親会社に対する貸付金は親会社の信用リスクに晒されていますが、親会社のキャッシュ・フローは安定的で、外部格付けも高いなど、リスクは限定的であります。

また、営業預り金、未払金及び短期借入金は1年以内の支払期限であり、長期借入金は設備投資の回収フローに見合った返済計画に基づいて借入を行っており、固定金利を支払っております。預り保証金は商業施設の建設協力金として受け入れ、賃貸借契約に基づき定期的にまたはテナントの退店時に返還しております。預り敷金は敷金として受け入れ、テナントの退店時に返還しております。

### (2) 金融商品の時価等に関する事項

(単位：千円)

勘定科目	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	167,600	167,600	—
(2) 営業未収金	835,817	835,817	—
(3) 未払金	(1,048,517)	(1,048,517)	—
(4) 短期借入金	(497,448)	(497,448)	—
(5) 営業預り金	(2,229,413)	(2,229,413)	—
(6) 長期借入金(1年以内返済を含む)	(910,000)	(950,022)	(40,022)
(7) 預り保証金(1年以内返済を含む)	(383,908)	(385,389)	(1,480)

※ 負債に計上されているものについては、( ) で示しております。

#### (注1) 金融商品の時価の算定方法

##### (1) 現金及び預金、並びに(2)営業未収金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

##### (3) 未払金、(4)短期借入金、並びに(5)営業預り金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

##### (6) 長期借入金(1年以内返済を含む)

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

##### (7) 預り保証金(1年以内返済を含む)

預り保証金の時価については、新規に受入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品は次のとおりであります。

(単位：千円)

勘定科目	貸借対照表計上価額
①投資有価証券	5,450
②預り敷金	(6,565,534)

※ 負債に計上されているものについては、( ) で示しております。

①投資有価証券

市場価額がなく、かつ、将来キャッシュ・フローを見積ることができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価開示の対象とはしておりません。

②預り敷金

返済スケジュールが未確定であり将来キャッシュ・フローを見積ることができないため、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価開示の対象とはしておりません。

## 7. 賃貸等不動産に関する注記

### (1) 賃貸等不動産の状況に関する事項

当社では、大阪府において、賃貸用の商業施設等（土地を含む。）を有しております。

### (2) 賃貸等不動産の時価等に関する事項

(単位：千円)

貸借対照表計上価額	時価
20,697,559	55,116,148

(注1) 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額であります。

(注2) 当事業年度末の時価は、主要な物件については「不動産鑑定評価基準」に基づいて自社で算定した金額、その他の物件については一定の評価額が適切に市場価額を反映していると考えられるため、当該評価額や貸借対照表計上価額をもって時価としております。

## 8. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 253,905円93銭

(2) 1株当たり当期純利益 17,582円41銭